

第38回 山桃忌のご案内

今年のテーマは「女性の目から見た柳田國男と民俗学」です。



戎舞



一谷嫩軍記

8月5日(土) **要申込** 参加費無料

第1部 女性の目から見た柳田國男と民俗学

13:10~17:00 (開場 12:00)

山桃忌・式典、傘踊り、基調講演、記念講演、シンポジウム「柳田國男と女性」



8月6日(日) **申込不要** 参加費無料

第2部 淡路人形浄瑠璃上演

(南あわじ市 淡路人形座)

13:30~15:40 (開場 12:00)

戎舞、人形浄瑠璃レクチャー、伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段、一谷嫩軍記 須磨浦組討の段

8月5日(土)~6日(日)

場所: 福崎町エルデホール

(問合わせ・申込み)

福崎町教育委員会 社会教育課

0790-22-0560

福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原
1038の12
電話: 0790-22-1000



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆
☆開館時間
9時~16時30分
(入館は16時まで)
☆休館日
月曜日、祝日の翌日
12月28日~1月4日
☆入館料
無料

ちょっと

國男の雑学

『南望』とは、國男が「一人子が遊学している間、村のはずれに出て遠く思いを寄せたという、中国の故事」と記しているように、我が子を想う気持ちを表現しています。國男の父操は、姫路の学校を渡り歩き学才を磨きましたが、一人息子を一人で待つ小鶴はまさに「南望」の心境だったことでしょう。小鶴は唐詩を好んでいたらしく、國男の家には『唐詩選』の七言絶句を半分にした、手製のかるたも残されていたそうです。



故郷七十年を 読む

名作著書紹介

國男の祖母、小鶴は國男が生まれる年の2年前に亡くなってしまいましたが、松岡家の学問好きの源流と云って差し支えないほどの才女でした。『南望篇』と名付けた20編ほどの漢文集を作成し、漢籍を手習いの子どもたちへ教えていたた

め、國男が少年のころにも、小鶴の教えを受けた女性が辻川の村にも何人か残っていたと記しています。また國男は他に、國男が生涯交流した三木家9代目当主、三木拙二の祖父である通深へ向けた「三木公逢に与えて仏を論ずるの書」という文書も読んだと記しています。大庄屋の若主人に一步も引かずに学を論じた、小鶴の教養の高さが偲ばれるエピソードです。



三木家の撮影のようす

「心に刻む風景」は読売テレビで、毎週日曜日夜21時54分から(変更の可能性あり)、「柳田國男編」放送は9月からを予定されています。

7月10日(月)に、柳田國男生家へテレビ取材がありました。日本テレビの番組「心に刻む風景 柳田國男編」で放送されます。柳田國男の人生と足跡を5回シリーズでたどる同番組で、福崎町が柳田國男生家と大庄屋三木家住宅で、2回とりあげられます。

柳田國男生家が
テレビ取材されました



館日記